

第 22 回読売国際協力賞贈賞式

木原外務副大臣 祝辞

(受賞者：特定非営利活動法人 ジェン (JEN))

(平成 27 年 11 月 13 日 (金曜日) 18:00-18:45 於：帝国ホテル)

本日ここに、読売国際協力賞授賞式が盛会に開催されますこと、心よりお喜び申し上げます。

そして、ジェンの皆様、1994年に創設され、第一回受賞者の緒方貞子さんをはじめ錚々たる受賞者・団体・企業を輩出してこられた伝統と権威ある読売国際協力賞を受賞されましたこと、心からお祝い申し上げますとともに、これまでの御活動・御貢献に敬意と感謝を表します。

ジェンはこれまで世界各地で紛争、また自然災害の犠牲となった人々への支援活動や、途上国における社会開発協力活動を行ってこられました。その活動は、現場のニーズを的確に把握し、状況に応じて迅速に対応する、NGO ならではの地に足のついた、きめ細かなものであり、国際社会においてもその知見を広く頼りにされ、国際機関等とも連携して支援事業を行ってこられました。

国際社会では、依然、紛争が絶えず、自然災害も多発しております。我が国を代表される国際協力 NGO 団体の一つとして、ジェンの皆様には、難民や被災者が再び自立して生きる希望を持てるよう、崇高な活動を続けていただきますこと、お願い申し上げます。

多様化・複雑化する国際協力、地球規模の課題は、もはや政府のみでは対応しきれず、市民社会、NGO、民間企業など幅広い連携が不可欠であります。外務省としても、本年 2 月に閣議決定した開発協力大綱にもございますように、NGO/市民社会組織との連携を戦略的に強化していく所存であります。

ジェンの皆様とも、既に、ODA を通じて、本年は、ネパール大地震の被災者、イラクの国内避難民及び国外に逃れたシリア難民への支援活動等について御協力をさせていただいていますが、引き続き、志をともにする多くの皆様と連携してまいりたいと存じます。

最後になりますが、国際協力の地道な現場に光をあて、国民の皆様の国際協力に対する理解と支援を深めていただいております読売新聞社様に御礼申し上げますとともに、ジェンの今後の更なる御活躍を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

(了)